



不完全

校長 清水 一司

1月21日、アメリカ大リーグシアトルマリナーズなどに所属し、シーズン262安打の大リーグ記録をもつイチロー氏がアメリカ野球殿堂入りを果たしました。日本人選手としてアメリカ野球殿堂に入るのは初めてとなる快挙です。現役選手当時、極限まで磨き上げた打撃技術で連日のようにヒットを量産するイチロー氏の活躍に、誇りと自信を与えられた日本人は多かったことでしょう。私もその一人です。すでにイチロー氏は、日本でも野球殿堂入りを果たしており、日米両国で殿堂入りした選手としても史上初となりました。

アメリカ野球殿堂は、全米野球記者協会に10年以上所属する記者による投票で75%以上の票を得た候補者が選ばれます。イチロー氏の殿堂入りに際しては、得票率が100%になるか否かが注目されていました。個人的には、イチロー氏こそ不世出の才能の持ち主であり満票は当然だと思っていたのですが、1票届かず満票での殿堂入りとはなりませんでした。このことについてイチロー氏は、「不完全であるというのはいいなあって。だから進もうとできるわけで。そういうことを改めて考えさせられるというか、向き合えるというの良かったな。」と言っていました。ここまで野球を極めて、なおまだ前へ進もうとしているのです。イチロー氏の旺盛な向上心には頭が下がります。

さて、本校2年生は1月19日～21日の日程で館岩自然の教室を実施してきました。今冬は降雪量が多く、西那須野塩原ICに向かうバスの車窓からは雪化粧をした山が例年以上に迫ってくるように見えました。栃木と福島の間境を過ぎた辺りから1mほどの雪の壁の中を行きました。雪の壁はたかつえスキー場に近づくにしたがって高さを増し、スキー場に到着する頃には背丈ほどの高さになっていました。ほとんどの生徒がスキーを履くのが初めてとのことでしたが、豊富な積雪と晴天だったこともあり、楽しくスキー活動を行うことができたようです。2日目にはほぼ全ての生徒がリフトでスキー場の中腹に行けるまで上達しました。リフトを降りると振り返った瞬間に現れる^{ひうち}燧ヶ岳や、会津駒ヶ岳などの美しい山脈の景色は、スキー上達の感動と相俟って生徒たちの記憶に長く留まるに違いありません。

自然の教室で生徒たちは、館岩の自然に触れ、館岩の自然に学び、館岩の自然に鍛えられました。生徒たちは本当によく活動し、またよく役割を果たしていました。この生徒たちの自然の教室での活動に対する私の評価は95点です。敢えて100点満点としなかったのは、イチロー氏と同じように、不完全とすることでさらに前へ進んでもらうことを期待したいからです。半年後には修学旅行が待っています。その時にこの生徒たちがどのような姿を見せてくれるのか。生徒たちの成長が今から楽しみでなりません。